

高知市民図書館

図書館資料収書基準

目次

第1章 図書選択の実務

I	はじめに	
1	高知市民図書館資料収集方針の順守-----	1
II	選択基準の一般的観点-----	2
III	図書選択の実務-----	”
1	購入図書-----	3
2	受贈図書-----	”
IV	資料の更新(書庫入れ)基準-----	4
V	不用図書および除籍図書,移籍図書決定の基準-----	5

第2章 一般的基準

I	具体的な一般的基準-----	6
II	一般的基準の説明-----	7

第3章 主題別選択(収集)方針

I	成人用図書	
0	類(総記)-----	13
1	類(哲学)-----	”
2	類(歴史)-----	14
3	類(社会科学)-----	15
4	類(自然科学)-----	16
5	類(技術・工学)-----	17
6	類(産業)-----	18
7	類(芸術)-----	”
8	類(言語)-----	19
9	類(文学)-----	20
	参考図書・逐次刊行物-----	21
	新聞・雑誌-----	22

## Ⅱ 児童用図書

(選定基準)-----	24
(絵本)-----	26
(紙芝居)-----	27
(まんが)-----	”
(昔話・神話・伝説)-----	”
(ノンフィクション)-----	”
0 類(総記)-----	28
1 類(道徳・宗教)-----	”
2 類(歴史・伝記・地理)-----	”
3 類(社会)-----	29
4 類(理科)-----	30
5 類(工業)-----	31
6 類(産業)-----	32
7 類(芸術)-----	33
8 類(ことば)-----	34
9 類(文学)-----	35

(1996年3月作成)

### ※参考資料

- 1 「新稿 図書の選択(図書館実務叢書2) 弥吉光長著 理想社 1961
- 2 「新版 蔵書構成と図書選択」(図書館員選書4)  
河井弘志編 日本図書館協会 1992
- 3 「子どもの図書館の運営」(図書館員選書11)  
小河内芳子編 日本図書館協会 1986
- 4 「藤沢市総合市民図書館資料収集方針」 1985

## 第1章 図書選択の実務

はじめに

1 高知市民図書館資料収集方針(1992年3月28日作成)を基本とする。

### 1 基本方針

(1)資料収集にあたっては、市民の要求に応えることを原則とする。

現在の利用者の要求だけでなく、潜在している市民の要求、将来予測できる市民の要求を考慮し収集する。

(2)資料の収集にあたっては、「図書館の自由に関する宣言」の精神をふまえ、つぎの点に留意する。

①多様な対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する。

②著者の思想的、宗教的、党派的立場にとらわれて、その著作を排除することはしない。

③図書館員の個人的な関心や好みによって選択しない。

④個人・組織・団体からの圧力や干渉によって収集の自由を放棄したり、紛糾をおそれて自己規制しない。

⑤みだりに個人のプライバシーをおかす資料、商業的利益のみを目的とした資料は収集の際留意する。

(3)資料は図書その他、雑誌・新聞などの逐次刊行物、視聴覚資料、マイクロフィルム、記録資料など多様な形態の資料を収集する。

(4)高知県に関する資料は、網羅的に収集するとともに、土佐近代文学関係資料を積極的に収集する。

(5)環境問題、平和問題、人権問題など現代の社会問題を取り扱った資料は積極的に収集する。

(6)乳幼児・青少年・高齢者など、それぞれの世代に特有な関心・好み・問題などを考えて、きめ細かい資料を収集する。

(7)姉妹都市関係の資料を含み、国際化時代に対応できる資料を積極的に

に収集する。

(8)中央館,地域図書館,地域図書室,移動図書館の役割,機能に応じた収集を行い,図書館全体として,各分野にわたり必要な資料を広範囲に収集する。

(9)高知県立図書館をはじめ県内の公共図書館,学校図書館,自由民権記念館,点字図書館などの類縁機関との関係を考えながら収集する。

※資料別収集方針,館別収集方針は,別冊「高知市民図書館資料収集方針」を直接参照のこと。

2 高知県関係資料は別に定める。

## II 選択基準の一般的観点

- 1 新しいもの
- 2 多数の利用者の要求に応え得るもの
- 3 現在および将来において要求されるもの
- 4 造本のしっかりしているもの
- 5 適性の価格のもの
- 6 収集方針,蔵書構成に見合ったもの

## III 図書選択の実務

選択者は ①豊かな心情

②広い視野

③公平, 中正な態度

④積極的な収集

⑤時代感覚

が 要求される。

## 1, 購入図書 地域のすべての住民の要求に応えるため

- (1) 各現場の職員が実態に即した選択を行うことを中心とする。
  - ①各方面からの要求を聞いて(利用状況, 読書傾向, 出版情報など)
  - ②総合的にみて適当と思う主題について(収集方針, 選択基準など)
  - ③適切な割合で(蔵書構成, 予算, 購入目標など)
  - ④必要なだけの量(蔵書冊数, 複本など) を選択する。

※購入もれのないよう注意する。

- (2) リクエストには出来るだけ応える。
- (3) 定価2万円を超える図書については, 館内職員で構成する「図書選定委員会」に図り購入決定をする。また, 県立図書館等と協議しながら資料分担を図っていく。
- (4) 販売ルートを通さないで直接図書の持ち込みや, 送りつけてくる図書については, 特に注意する。

(内容に対して恐ろしく高価なものが多い)
- (5) 不必要と判断した図書については, 速やかに断る(返送する)こと。

## 2, 受贈図書

一般購入図書の収集方針, 選択基準に準ずるものとする。

- (1) 一般図書の受贈は, 本館, 分館, 分室など館別収集方針に沿って選択する。
- (2) 個人出版については, 資料的価値や利用予測など考慮して, 個々に判断する。
- (3) 地方史(誌), 他図書館の蔵書目録などは, データ化の対象としな  
いが, カード目録などによって利用できるように整理する。
- (4) 官公庁, 各種団体には定期的に寄贈依頼を行う。

とくに逐次刊行物に欠号のないように注意する。
- (5) 速やかに受贈礼状を出す。

(同人誌などの継続出版物は年1回程度でよい)

#### IV 資料の更新, 書庫入れ基準

開架図書は新鮮さが生命なので, 収容冊数, 増加冊数を考慮しながら常時行うことにこころがける。

##### 1 形態上使用にたえない図書

- (1) 破損(きりとり, こわれなど)したもの
- (2) 汚損(きたない, かきこみなど)したもの

##### 2 利用価値が下がった図書

- (1) 定期的に刊行される図書で最新刊以前のもの(年鑑, 白書など)
- (2) 出版年が古く5年間以上利用のない図書

##### 3 上記を備えた複本

#### ※留意点

- 1 書庫入れすることによって蔵書構成にバランスを欠くことのないよう適時その主題の補充につとめること。
- 2 類書のない基本資料で, 今後も利用が予測されるものについては買い替えること。
- 3 買い替えのできないものは製本をする。  
ただし, 内容の新しさ, 経済性を考慮すること。

## V 不用図書および除籍図書, 移籍図書決定の基準

不用図書の決定は, よく利用されたり, 基礎的な図書だったり, 歴史的資料として価値の高いものもあるので慎重にする。特に類書が他に無いものや絶版等の理由で入手不可能のものもあるので注意深く決定すること。

### 1 亡失によるもの

- (1) 災害および不慮の事故によるもの
- (2) 現品弁償不能および回収不能となったもの
- (3) 資料の総点検において所在不明となり調査してなお1年間不明のもの

### 2 汚損, 破損によるもの

汚損, 破損がはなはだしいもの。ただし, 修理製本可能なものは除く

### 3 数量更正によるもの

すでに受入れの済んでいる資料を分割, もしくは合併しようとするとき

### 4 資料の更新によるもの

- (1) BM, 分館, 分室の資料は受入れ後7年を経過したものは除籍する
- (2) ただし, 上記の資料は本館への移籍または保管転換に努力する

### 5 不用と判断されるもの

複本, 類書および内容(実用書, ハウツーものなど)等で不用と判断されるもの

### 6 長期未返却その他の理由で3年間以上不明のもの

## 第2章 一般的基準

### I 具体的な一般的基準

#### A 著作事項

##### 1 著者(編集者, 翻訳者, 画家など)

経歴, 専門, 趣味, 傾向, 態度,  
著作までの体験, 準備, 研究・調査など

##### 2 出版社(発行所, 発行者など)

企画・実績(文化性と営利性), 著者との関係,  
専門・一般・総合の性格, 良心的出版

##### 3 出版事項

出版年の新しさと内容の新しさ,  
版と刷の区別, 改訂版(改訂の範囲と程度・増補・補遺)  
異なる出版社の発行(異版・別版)

#### B 内容

##### 1 主題(テーマ)

分類, 範囲, 複数の主題(主体, 主体間の関係)  
ある目的のための主題(明確な目的)

##### 2 知識

正確さと新しさ, 資料の一次資料と二次資料  
(個人の体験, 意見, 研究・調査・編集・整理)

##### 3 企画・構成(方法論と著作)

著者の態度(思想的・科学的・教育的・宗教的・芸術的・娯楽的)  
公平, 独創(思想, 表現)と模倣,  
図書の具体的構成, 索引その他参考資料

##### 4 表現

文字・語句・文章(長さ構造), 文体, 説得力



写真・絵画(正確さと新しさ), 魅力と迫力, 色彩感

## 5 対象

一般, 専門, 学生

## C 形態

### 1 印刷

印刷の種類, 活版(凸版), 活字(大きさ, 読み易さ, 鮮明さ, 色)

挿絵, 写真(画集, 地図帳などの鮮明さ)

### 2 用紙・紙質, 色

### 3 造本

大きさ, 装丁, 製本

## II 一般的基準の説明

### A 著作事項

#### 1 著者 ☆図書を選択する基礎である。

(1)その著者は信頼感があるかどうか。

(2)経歴は著書との関係を注意する。

(3)専門, 技術書は教育や学位を参考にする。

(4)翻訳は忠実な再現がされているか。

(5)自分の体験を不用意に記録したものであるか, 十分に検討して視野を広めたものか。

(6)構成力や分析力, 判断力で高度に材料を駆使しているか。

(7)著者の思想的傾向を, 選択者は自分を含めて現代の批判も冷静に容れるだけの識見が要求される。

(8)建設的と合理的な態度を見分ける。

※新聞雑誌, 文化人名録, 出版年鑑などで, 著者の紹介や解説の記事などを注意すること。

#### 2 出版社

(1)官公庁や諸団体の出版は専門的であり, 報告の使命をもつものである

り信頼できる。

(2)研究社(英語),有斐閣(社会科学),丸善(科学)など,文化性・専門的出版社は,実績を重ね,科学の進歩と共に出版書も進展していく傾向がみられるので信頼できる。

(3)出版社の性格は創立者の性格の反映するものが多い。

(例:岩波書店,新潮社,美術出版社など)

(4)過去の実績を出版目録などで調べる。

(5)良心的(誠実な)出版社を選ぶ。

- ① 出版社の伝統的な方針を保ちながら,一面では新しい社会の動向をとらえて,社会の文化の発展に貢献する出版社
- ② 読者の希望や著者の意図を尊重する出版社
- ③ 出版後誤りを発見すればすぐに訂正し,悪いものは絶版にし,不完全な図書は取り替える,出版した図書はなるべく絶版にしない出版社

### 3 出版事項

(1)版と刷との区別

版・・再販→初版の内容を,若干訂正して出版したもの

第3版→再販が訂正されたもの

刷・・初版と同じ内容のままに印刷したもの

- ①教養書,学術書などは改訂版を買う。
- ②その場合は前版と比較して,改善されたことを確かめて買う。
- ③申し訳的な改訂版は買わない(高価な図書の場合は特に注意する)
- ④改訂が大きいときは買い入れるのは図書館の責任。
- ⑤訂正が補遺,続編,別編の形で別冊発行されるものは必ず買う。

(2)異版・・出版社の違う出版

- ①有名な著書で著作権が切れると,各書店が独自の計画で出版をする。文学書に多い。
- ②文学書は著作権があっても争って出版される傾向がある。

③新装や改題として出版し,序文だけ違う場合があるので注意する。

④翻訳はどれを忠実な訳とするか判断が難しいので注意する。

(3)出版年の新しさと内容のあたらしさ

①出版年が新しいから内容も新しいとは限らない。

②古い版を新版で出したり,古い資料を用いての不備出版に注意。

B 内容

☆適書の発見

- ・利用する人の年齢層などを考慮し,その読書能力に応じたものを選択する。
- ・目前の興味だけでなく広い視野から,地域社会の要求を考える。
- ・レファレンスに答えられるもの。

(1)主題

- ①書名は必ずしも主題を現さない。
- ②主題は何に属するか,何について語るのか,主題自体が明確であること。
- ③どの範囲まで記されているかを明らかにしてある。
- ④主題はひとつか,複数か。複数ならばどれが主体か,また,主題間の関係はどうか。
- ⑤農業土木,工業法律,産業心理学などある目的のために一つの主題を利用したものや,応用科学は利用が多いのでできるだけ購入する。

(2)知識(著述の素材のこと)

- ①著者が自らの体験を記したもの(日記,往復書簡,旅行記など)
- ②やや作文的であれば自叙伝。
- ③著者が観察したもの。
  - ・直接観察・・ 動植物の生態,文化人類学の観察,考古学の発掘,心理学の観察,医学の診察など
  - ・間接観察・・ 天文,気象,機械や工場,運輸,通信機関など

・科学または技術の観察結果報告

- ④実験したもの，科学全般と技術の一部。
- ⑤理論的研究，仮説を証明することなど。
- ⑥調査，社会科学的方法によるもの。
- ⑦資料の発見紹介(歴史，文学，芸術に多い)
- ⑧発達資料の分析と総合(理論的研究で，あらゆる調査・研究。歴史的  
的研究に特に多い)
- ⑨資料の編集，年史，年表，統計など。
- ⑩第1次資料は利用価値がある。

古文書，古写本，記録，文学で自筆本，初版，創作類など

- ⑪第2次資料(第1次資料を系統的にある方法でまとめたもの)

提要，辞典，事典，抄録，索引，目録，年表，統計集など

- ⑫自分の研究等の必要からある体系に集めたもの。

日本建築史のために有名な学者の学説や研究を集め，国宝や重要文化財の調査などをまとめた場合。

- ⑬第1次資料および素材的資料は，記述が不正確でない限り有用。

- ⑭第2次資料は第1次資料に正しく従って，編集上の誤りがなければよい。引用箇所を誤りなく明示してあるのがよい。

- ⑮正確と新しさは両者を備えにくい。1に正確さ，2に新しさとする。

こども，成人，専門，実用など対象に応じて，正確さや新しさを判定する。

### (3)企画・構成(組織)

- ①標題紙・・ 欧米ではその図書のすべての証明が記載されているが，日本の出版社はあまりこれを尊重しないので，標題紙，奥付を併せて著者，出版社，版次，出版年などを確認する。

- ②序文・あとがき・・ 著者の思想または主張，著作の動機，著述の経過などがのべられているので参考にする。

- ③目次・・ 目次は図書の構造の骨格を表している。

- ④凡例・・ 辞典などは、利用の手引、案内を示す凡例が記載されている大事な項目である。
- ⑤注・・ 脚注は正確な引用が大事である。その研究や説明に必要なものでなくてはならない。
- ⑥書誌その他の資料・・ 年表、統計、説明または解題などは、利用に便利。
- ⑦索引・・ 親切丁寧なのがよい。

#### (4)表現

- ①語句・・ できるだけ分かり易いものがよい。  
新語、外来語、専門語などは理解できるものを。
- ②文章・文体
  - ・長さ 読み易いこと。  
やさしい語彙と短い文。または適当な長短のおりませ。
  - ・文章の種類 抽象的と具体的があるが、具体的な描写、説明、会話がうまく組み合わさったものがよい。
  - ・文章のスタイル 著者には個性がある。その主題と著述の態度や方法に適したスタイルで記されているか。
- ③絵画・写真 分かり易く正確であるか。魅力や迫力のあるもの。実物に近いもの。正しい色彩で感情がわきおこるものでありたい。

### C 形態

#### 1 印刷

##### (1)活字

- ①大きさを表す活字の号数(ポイント)や書体(明朝やゴシックなど)がその主題に合っていること。
- ②見出しと本文の活字を区別したりして分かり易く工夫している。

## (2)活字の大きさと読み易さ

印刷された行の長さ,行間のあき,明るさ,色など読み易いもの。

## (3)挿画,図集,写真集の印刷

鮮明で濃淡の豊かなもの。

## 2 用紙

粗悪なものは避けて,活字との調和のとれた色合いがよい。

(真っ白はかえって目が疲れることがある)

## 3 造本

①クローズ装本と紙装本があるので注意する。

②堅牢なものを選ぶ。

③接着剤とじは乾燥してこわれやすいし,針金とじはさびてきてそこから傷みが生じたりするので,長期間の提供や保存に適さない。

※乱丁,落丁,汚損は調べて速やかにとりかえること。

### 第3章 主題別選択(収集)方針

#### I 成人用図書

##### 0 類 (総記)

- 1 百科事典,年鑑,新聞等は,レファレンスに利用される頻度が高いので豊富な資料を収集する。
- 2 図書館に関する資料,書誌・目録類,類縁機関に関する資料は積極的に収集する。ただし,他図書館に関するものはデータ化しない。
- 3 叢書・全集は,過去に比較的重点的に収集されている。
- 4 コンピュータなど技術革新が著しく,社会的影響も大きい情報科学は最新の情報を積極的に収集する。

##### 1 類 (哲学)

- 1 哲学・思想関係は,なるべく平易に書かれ,かつ包括的な哲学概論,哲学史,哲学事典などを選ぶ。
- 2 西洋,東洋の古典的な哲学全集は揃える。
- 3 哲学各派についての代表作以外の著作や,やや専門的な図書も揃える。
- 4 現代哲学においては,哲学・思想関係の雑誌(「思想」など)に目を通し,時代の流れに対応した図書選択にこころがける。
- 5 近年話題を集めている日本の現代哲学者(浅田彰,中沢新一,柄谷行人,吉本隆明など)の単行本も積極的に揃える。
- 6 日本の哲学としては古典的となった近世・近代の思想家(安藤昌益,本居宣長,西田幾太郎,内村鑑三など)の著作。
- 7 中国古典哲学として諸子百家(孔子,孟子,荀子,墨子,老子,荘子,孫子)
- 8 イスラム,インド思想史の図書
- 9 日本の代表的な出版社として岩波書店,創文社,理想社,未来社,勁草書房,みすず書房がある。
- 10 主な学会は日本哲学会,日本倫理学会,日本科学哲学学会,中世哲学会,日本現象学会などがある。

### (宗教)

- 1 宗教書の多くは信徒に向けた教議や教理的なもの、布教を主な目的としたものが中心になっているので、判断が難しい。
- 2 NDC160~188の項目を重視し、評価の定まらない新興宗教は慎重に選択する。
- 3 ニューサイエンスや神秘主義ブームのなかで数多く出版されるものは時代に即応してなるべく購入していく。
- 4 学問的な対象として宗教をとらえたもの。
- 5 聖書や仏典は克明な注釈や解説のあるもの。
- 6 図書館では信仰そのものよりも他分野とのかかわりにおいて宗教書が利用されるので、事典や参考図書を十分に揃える。
- 7 古典的な宗教家の著作や各宗教の聖人の伝記なども揃える。
- 8 宗教関係の主な出版社に岩波書店、春秋社、日本基督教団出版局、南窓社などがある。
- 9 学会には日本宗教学会、神道史学会、日本基督教学会など。

### (心理学)

- 1 心理学は哲学や宗教の分野に比べると変化が早い。いくつかの異なる学問分野の領域にもカバーできるよう、また最新の情報にこころがける。
- 2 叢書・講座・参考図書などの購入につとめる。
- 3 心理学には専門的な著作のほかに、実用書的なものも多い。

### 2 類(歴史)

- 1 歴史の図書は学術書、参考図書、さまざまな啓蒙書、テキストブックなど一連の歴史書、史料(集)などのバランスをとりながら選択する。
- 2 各分野の基本書を体系的に収集する。
- 3 歴史はよく利用されるので、一般向けに書かれた歴史読物から入門書啓蒙書、研究書、史料まで多様なレベルのものを収集する。



- 4 歴史は学説や歴史観による対立があるので、それぞれの観点に立つ多様な資料を収集する。
- 5 伝記は著者がどれほど客観的なデータを利用しているか、被伝者をどれほど深く理解しているかなどを考慮しながら選択する。

### 3 類(社会科学)

- 1 各分野の基本書を体系的に収集する。
- 2 さまざまな学説や主張が抗争している分野なので、多様な観点に立つ多様な資料を幅広く収集する。
- 3 社会科学はその時々時代の時代性と深く結びついている分野なので、今日的主題を重視して収集する。
- 4 入門書、概説書は常に新鮮な資料を揃え、利用の多い分野については類書や複本も用意する。
- 5 参考図書(辞典類)については、総論から各論まである程度専門的なものも含め幅広く収集する。
- 6 社会科学は市民が高度の調査研究に進み得る分野であり、また、専門の研究者にもある程度のサービスが提供できるよう、必要な専門書は積極的に収集する。
- 7 日常生活および実務上に必要な実用書、実務書は豊富に収集する。
- 8 「平和」、「人権」資料は積極的に収集する。
- 9 「スモン」をはじめとする薬害、身体障害者問題の資料も積極的に収集する。

---

#### ◆ 302(政治, 経済, 社会, 文化事情)

話題になっている資料, 新しい資料を豊富に収集する。

#### ◆ 304(社会評論)

時代を代表する評論, 話題になった評論はもれなく収集する。

#### ◆ 308(叢書, 全集, 講座) — 主要なものはもれなく収集する。ただし, 一般

教養的内容のもので、類書のある場合は選択の対象とする。

◆ 310(政治)

その時点ごとになにが要請されているのかを正確に判断し選択する。

◆ 320(法律)―実際に生活で役に立つもの。

市民生活上の法律的検討を必要とする項目は多岐にわたっており、各種の個別的問題に対応できるように収集する。

・法令集は、一般的(現行日本法規,官報など)なものだけでなく、個別の六法全書(道路六法,環境衛生六法など)も収集する。

◆ 370(教育)

幼児教育,教育心理,家庭教育,各種学校,通信教育,障害児教育などは利用が多い。教える側,学ぶ側,保護者やボランティアなど教育分野の資料を求める利用者のそれぞれの立場に立った資料を収集し,期待に応える。

#### 4 類(自然科学)

1 自然科学はその進展が著しい分野なので,最新の情報をつねに提供できるように留意する。

2 自然科学の各分野は,非常に細分化・専門化されているので,個別分野の高度な専門書は収集しない。

3 市民が自然科学全般および主要な個別分野の状況を概観できるような入門書,概説書を中心に収集する。

4 自然科学の最新の分野(例えば「ハイテクノロジー」など)について,わかりやすく書かれた本は積極的に収集する。

---

◆ 401(科学哲学)

科学哲学,科学理論は,ある程度専門的な資料も収集する。

◆ 460~489(生物科学)

各主題における特色,その形態等について把握し,その図書の出版傾向

と刊行団体および出版社等について理解する必要がある。

- ◆ 490(医学)―各病気に関する図書,基礎的な解剖書や循環器等を扱った生理関係の図書については,各疾患に直接関係することが多いため正しい知識を得るためにも備える必要がある。

## 5 類(技術・工学)

- 1 科学技術はその進展が著しいので,最新の情報をつねに提供できるように留意する。
- 2 技術者や工学系学生が使用する高度で専門的な工学書は,利用の見込める資料のみ購入する。
- 3 科学技術の最近の動向について,分かり易く書かれた資料は積極的に収集する。
- 4 趣味や実用に役立つ資料は積極的に収集する。

- 
- ◆ 500(技術工学一般)―技術工学部門の参考図書としてJIS(日本工業規格),ISO(国際標準化機構)などはもれなく収集する必要がある。

技術史的な観点からいえば,廃止された規格や改正前の規格も必要となる時があるので保存も必要となる。

- ◆ 530(機械)―鉄道マニア,車マニアなど専門的な図集,図面集,写真集などの要求が増えてきている。必要な参考図書などを収集する。

- ◆ 540(電気・電子)―一般の利用者の興味の対象となるので,技術工学のなかでは公共図書館が収集に力をいれる部分である。

ICやトランジスタ,ダイオードなどの規格表,回路設計のマニュアルなど一定程度収集する必要がある。また,収集した資料については,改訂版の刊行に気を配り,つねに最新のものを整備しておく必要がある。

- ◆ 570(化学工業)―セラミックスやバイオ洗剤や接着剤,特種樹脂など一般の人でも興味をもつような素材に事欠がなく,簡単にできるということで大変なブームの分野である。啓蒙書,実用書の選択に力を入れる。

◆ 590(家政学・生活科学)―おもに主婦を対象として出版されることが多いが、なかには若年向きのものもある。育児,料理,服飾,あるいは住居の間取りからインテリアまでを扱った実用書,技術書,案内書に到るまで啓蒙的なものを含めてさまざまに幅広くある。

利用者はより時代を反映したもの,あるいは実生活に合致したものを求める。現実の家庭生活の設計を考える上では「ハウツ-もの」のみでは解決とならず,必ず各専門分野の図書や雑誌を必要とするので,おりまぜて収集する必要がある。

- ・利用が多いので積極的に購入する。
- ・衣服・手芸・料理の分野では,季節感に留意する。
- ・住居,家庭衛生(性,出産,家庭医学,家庭看護,育児)に関しては,独立した各分類に留意しながら積極的に収集する。

## 6 類(産業)

- 1 社会科学との関連で,商業,運輸,通信事業を重視し,実用的な資料を幅広く収集する。
- 2 趣味に役立つ資料(園芸,造園,ペットの飼い方など)を幅広く収集する。
- 3 ビジネス・マンや商店主に役立つ資料を積極的に収集する。
- 4 産業社会の新しい動向について書かれた資料は,積極的に収集する。

## 7 類(芸術)

- 1 市民の教養・趣味・娯楽に役立つ資料を,鑑賞,研究と製作・実技との両面にわたり,幅広く収集する。
- 2 美術全集,画集,写真集,工芸名品集は,基本的なものを中心にできるだけ幅広く収集する。ただし,きわめて高価なものも多いので,内容を優先して判断し,要望度と価格のバランスは考慮する。
- 3 趣味の分野は,入門書を中心に豊富に収集する。また,ある程度上級の

人の要望にも応えられるよう幅広く収集する。

4 市民の趣向,流行に留意し,新しい分野についての情報も迅速に提供できるように努める。

◆ 700(芸術・美術評論)―基本的な資料を収集する。

時代を代表する評論,話題になった評論はもれなく収集する。

◆ 710~739(彫刻,絵画,版画)

・和書中心でなく幅広くバランスのある基本図書の構成につとめる。

・美術家の随筆類はすぐれたものが多く,一般利用者の美術への関心を一層深める上で重要なので収集する。

・作家研究,作品研究は基本的資料を収集する。

・製作技法に関する資料は,入門書を中心に幅広く収集する。

・漫画は,おとな向きで評価の高いもの(最新の評判のものも含む)を収集する。

※こども向きのものは児童書選択の項で

◆ 760~779(音楽,舞踊,演劇,映画)

各ジャンルの基本書を体系的に収集する。

◆ 780~799(スポーツ,娯楽)

・各種目,各競技ごとに基本書を収集する。

・初心者向きの入門書に留意する。

・スポーツ団体,学校,社会教育団体などに役立つ資料に留意する。

・市民の趣向,流行に留意する。

## 8 類(言語)

1 世界各国の言語の辞書や学習書は,できるだけ網羅的に収集する。

2 利用の対象は学生のみでなく,ビジネスマン,海外赴任家族などにも留意する。

3 活字の大きい辞典も用意する。

4 図書資料だけでなく,カセット・ブックなどを収集して充実を図る。

とくに、外国人利用者も意識して、日本語をその出身の言語で学習することのできるテキスト、AV資料なども揃える。

- ◆ 813(国語辞典)―基本的なものはもれなく収集する。
  - ・特殊辞典(類語,語源,古語,流行語など)も幅広く収集する。
- ◆ 816(挨拶,スピーチ,手紙,論文)―実用に役立つ資料を幅広く収集する。
- ◆ 820~899(外国語)―国際化時代をむかえ語学の要求は強いので,市民の学習と実用に役立つ資料を幅広く収集する。
  - ・基本的資料や社会人向きの軽易な学習書や読物を積極的に収集する。
  - ・各国語辞典は,○和辞典,和○辞典など,どちらからでも利用できるような資料を揃える。

## 9 類(文学)

- 1 市民の関心が最も高く,最も利用の多い分野なので,各分野について豊富な資料を収集する。
  - 2 全集,作品集に入っている作品でも,利用が多くみこまれるもの,また単行本,文庫本の形態の方が利用しやすい作品については単行本,文庫本を購入する。
  - 3 受賞作品や話題になっている作品は,もれなく購入する。
- ◆ 古典文学(ある時代を代表し,多くの人の鑑賞を経て一定の評価が確立した作品-全集,詩歌,戯曲,物語など全分野-)は,もれなく収集する。
    - ・現代語にはない言葉や意味不祥の言葉が使われているので,正しい理解のための現代語訳は欠かせない。
    - ・学習参考書の類まで幅広く収集する。
  - ◆ 910,2(日本文学史)―文学研究,作家,作品研究に重点をおく。
  - ◆ 911(詩歌)―評価の高いものを中心に入門書,鑑賞書も収集していく。
  - ◆ 912(戯曲)―近代以降の作品は評価の定まった作品を中心に収集する。

◆ 913~916(小説・物語, 評論・随筆, 書簡・紀行, 記録文学)

・現代の小説, エッセイ, 紀行文などは最も多く利用されるので, 幅広く豊富に収集する。

・時事性, 話題性のある作品に留意する。

◆ 920~(外国の文学)

・各分野の基本的な作品, 作品研究, 作家研究を体系的に収集する。

・時事性, 話題性のある資料に留意する。

・古典や評価の定まった作品のほか現代の作品も積極的に収集する。

参考図書・逐次刊行物

☆ 参考図書は, 特定の情報記事が調べやすいようになっている図書。

☆ 逐次刊行物とは, 号をおって終刊を予定せずに刊行される資料。

☆ 逐次刊行物のうち, 年鑑, 白書, 官公庁出版物などバックナンバーを揃えることによって調査研究を充足させるものとして, ここでは参考図書と同等の考え方をもつものとした。

ただし, 新聞・雑誌についてはつぎの項とする。

種類

(1) 言葉を求める→辞典類

(2) 事柄を求める→事典類(百科事典, 専門事典, ハンドブック, 図鑑)  
年鑑, 年表, 人名事典, 地名事典, 名簿類, 地図帳

(3) 図書, 資料を求める→書誌, 索引

(4) 系統的に整理された資料集

①歴史資料→古文書, 記録集, 金石文集, 写真, 図譜集

②科学資料集→論文集, 報告集, 調査統計集, 法規集, 系統的資料集

③特許文献 ④写真集 ⑤設計等図版集, 地図集 ⑥芸術図録

⑦楽譜集 ⑧学術雑誌, シリーズ

(5) 方法論書→研究法, 調査法およびその資料

(6) 専門の歴史

- 1 市民の調査・研究に役立つ参考図書は積極的に収集する。
- 2 大型の参考図書(世界大百科事典など)は網羅的に項目をあげ,相当詳しい説明を行っている。企画,編集に時間と経費を費やし,執筆者も多数にのぼる。完成も改訂も相当な準備をかけている。十分に検討して予約購入の方法をとる。
- 3 中型は基本型で項目も多く説明も詳しいものを選ぶ。  
専門事典はこの型が多い。類書も多いので比較研究して選ぶ。
- 4 小型(ポケット判)は携帯用をかねたもので最も類書が多い。
- 5 正しく,分かり易く,使い易いこと。
- 6 執筆者と出版社を注意して,印刷,製本まで注意すること。
- 7 参考図書は,社会の進歩におくれさせないように,ある期間をおいて更新する。
- 8 逐次刊行物は欠号のないよう収集にこころがける。

-----  
◆ 辞典・事典・便覧・ハンドブック

- ・ 利用頻度も高く,利用しやすい基本参考資料である。過度に専門的なものを除き,できるだけ収集する。
- ・ 調査研究を十分に援助するためには,資料の厚みが不可欠であり,利用の集中を緩和させるためにも,類書を含めた網羅的な収集が必要である。

◆ 書誌

- ・ 地域性と特殊性があり,収集にそれが反映しているところの蔵書目録。
- ・ 特色ある収集をしているところの蔵書目録。

◆ 統計資料

- ・ 国全体におよぶ統計資料は原則としてすべて収集する。
- ・ 地域に関係なく特種な主題(たとえば水俣病,スモン,基地問題など)をあつかっている統計については,必要に応じて収集する。

◆ 年鑑・白書   ・各主題にわたり,基本的なものはすべて収集する。



(5)人名録・団体名鑑 各主題にわたり,なるべく幅広く収集する。

ただし,利用がごく少ない分野や変化がほとんどない分野,類書が多数ある分野は,購入および購入頻度を調整しながら収集する。

#### (新聞・雑誌)

※県立図書館との資料提供と保存・管理の連携をとりながら収集する。

### 1 新聞

(1)主要な日刊紙を中心に各種新聞も収集する。

ただし,政党機関紙や宗教新聞といったものは,寄贈によるものとする。

(2)日刊紙は,保存・管理の面で困難なので,縮刷版やマイクロ資料の収集につとめる。

### 2 雑誌

(1)雑誌は最新の情報が得られる資料なので,市民の暮らしや楽しみに役立つもの,調査研究に役立つものを積極的に幅広く収集する。

(2)各分野の基本的な雑誌は,収集もれのないように留意する。

(3)市民の趣向や流行に留意し,新鮮な雑誌を収集する。

(4)ヤング・アダルトの利用を活発化させるための雑誌を収集する。

(5)年度途中の創刊雑誌でも,市民の要求を考慮して収集する。

- ・総合雑誌
- ・出版情報に関する雑誌
- ・時事に関する雑誌
- ・文芸雑誌
- ・婦人雑誌
- ・生活誌
- ・芸術
- ・スポーツ
- ・レジャー
- ・産業
- ・動物,植物
- ・身体障害者向き
- ・こども向き
- など

## Ⅱ 児童用図書

- 1 幼児,児童,生徒のあらゆる興味に対応できるよう,幅広く資料を収集する。
- 2 各分野の基本図書(評価の定まった資料)は,もれなく,かつ十分な複本を揃える。
- 3 基本図書は「リスト」を作成し,分館,分室など他のサービス・ポイントでの選書の参考資料として提供する。また,資料面でのバックアップもする。
- 4 基本図書は,日常的に維持,更新して欠本の生じないようにする。
- 5 品切れ,絶版となった基本図書の保存につとめる。

---

### (選定基準)

#### 1, 著者(訳者,画家,編者,監修者を含む)

- (1)新しい著者については,これまでの経歴を調べ,その信頼度は高いか。
- (2)すでに著作がある著者については,それまでの著作が評価されているか。また,それらの著作を比較してどうか。

#### 2, 出版社

- (1)これまでに児童図書を出版しているか。本造りにたいする姿勢はたしかか。
- (2)新たに児童図書を出版した出版社については,その目的,意図,方針などはどうか。

#### 3, 内容

- (1)著者の意図する読者に範囲があっているか。
- (2)こどもの知的,または情緒的な経験を広げることのできるものであるかどうか。
- (3)著者の考えがはっきり出ているか。
- (4)作品のテーマ,構成が読者を引き付け,俗悪に流れず,文学性豊かなものであるかどうか。

- (5)絵本の場合は、文章と絵の関係がうまくとけあっているか。
- (6)知識は正確でわかりやすく、かつ、時代の進歩に応じ、論理的に発展しているか。
- (7)索引の構成に工夫がみられるか。また、便利に利用できるか。
- (8)増補、改訂が適切にされているか。

#### 4. 表現

- (1)読者の発達段階に適した表現を用いているか。
- (2)こどもの心情を豊かにするよう叙述されているか。
- (3)文章は明確で、しかも簡潔に書かれているか。
- (4)漢字、かなづかい、ふりがなが適切か。
- (5)明瞭で正確な写真、絵画、グラフ、図表などにより視覚化し、こどもの理解を助けているか。
- (6)写真、絵画は、美術性をそなえているか。

#### 5. 形態

- (1)紙質、印刷、判型、活字、組版は適切であるか。
- (2)装丁は適切で、芸術的価値をもっているか。
- (3)造本は耐久性のあるものか。
- (4)こどもの興味をもつ形態で、取り扱いが容易であるか。
- (5)図版、写真、色彩は鮮明か。

#### 6. 価格

内容にふさわしく適切か。

#### 7. その他

- (1)古典、翻訳作品については、原文の意味を正確に伝え理解しやすいか。  
また、原著の持ち味そのままをあらわし、原著について解説がつけてあるか。
- (2)民話、神話、伝説については、再話にさいし、ストーリーがしっかりしたもので、適切な表現を用いているか。

(絵本)

- 1 こどもの知的,情緒的経験を広げ,想像力を養うものを中心に収集する。
- 2 評価の定まった絵本作家の作品は,できるだけもれなく収集する。
- 3 原書の絵本も収集する。
- 4 少ない点数でも,いろいろな国の絵本が揃うようにつとめる。

-----  
(1)幼い子にもわかる

(2)楽しいこと

◆ 連続性,物語性,芸術性に着目する

①絵はテーマが大きく描かれ単純なもの

②描線ははっきりしていて写實的,調和のある色彩のもの

③こども自身の描く絵のような柔軟性をもってこどもが共鳴するよ  
うな力づよいもの

④絵が見るものに訴えかけるものをもっているもの

⑤絵がストーリーをかたってくれているもの

⑥絵と文が互いにとけあって一つの世界をつくりあげているもの

⑦構図がしっかりしているもの

⑧色はどうか

⑨こどもにふさわしい暖かみのある絵か

⑩ストーリーはこどもにふさわしいものか

⑪ことばは,こちよリズム,ひびき,力づよいもの

⑫何年も読み継がれてきたものかどうか

⑬科学絵本は,科学としての正確さと,絵本としての楽しさを備えた  
もの

⑭科学の不思議さや面白さを絵本の世界の中で感じさせるもの

⑮題材のもっている大切なこと,本当に伝えたいものが明快に描かれ  
ているもの

### (紙芝居)

- 1 紙芝居の「抜く」という性質を十分にいかしたものの。
- 2 画面の絵と語られる文が調和しているものの。
- 3 こどもの生活に密着した題材をあつかったものの。
- 4 こどもの生活を高められるものの。
- 5 こどもの想像の世界を広げられるものの。
- 6 すぐれた紙芝居については、複本を用意する。

### (まんが)

- 1 こどもの“夢の器”として生きてきた「まんが」を、こどもの文化財として評価し、収集する。
- 2 読者をこどもと限らない作品は、成人室用図書として扱う。

-----  
今日のこどもの心を豊かにするものであるかどうか。

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| (1)ストーリー全体としての素材の良さ | (2)アイデアの新しさ     |
| (3)テーマからくる思想性の豊かさ   | (4)まんが独自のもつユーモア |
| (5)あたたかい情感          | (6)まんが独自の批判精神   |

### (昔話・神話・伝説)

- 1 こどもの文学としての昔話がおもしろさ、ふしぎさ、美しさ、訴える力の強さ、与える喜びの深さを評価し、民俗学の一分野としてではなく、こどもの文学として昔話を積極的に位置付け収集する。
- 2 各国、各地方の資料も幅広く収集する。

### (ノンフィクション)

- 1 科学への興味を呼びおこし、科学的な考え方やものの見方を育て、将来へ向けてこどもの視野を広げる資料を収集する。
- 2 幼児から中学生までの知識、学習、趣味、娯楽に役立つ資料を収集する。

## 0 類(総記)

- 1 こどもたちの宿題や自由研究に応えられるよう,百科事典を中心に調査研究のための資料を収集する。
- 2 こどもにも読めるマイコン,パソコンの資料も収集する。

## 1 類(道徳・宗教)

- 1 出版点数が少ない。  
わかりやすい哲学,倫理,思想,宗教の資料を収集する。
- 2 こどもたちの悩みに応えられる人生論や心理の資料を収集する。

## 2 類(歴史・伝記・地理)

- 1 利用も多く,出版点数も多いので,体系的に収集する。
- 2 社会科学習との関連に留意して資料を収集する。
- 3 利用の多い資料については,複本を用意する。
- 4 図版,写真,イラストなどを使った資料に留意する。

---

### ◆ 日本史,世界史(20~27)

- ①各種年表,事典,地図などを収集する。
- ②戦争の記録は積極的に収集する。
- ③服装や住居などの生活文化の歴史は,図版のある資料を中心に積極的に収集する。

### ◆ 伝記(28)

- ①より多くの人物に,多様な観点からアプローチできるように幅広く収集する。

### ◆ 地理(29)

- ①日本国内の各地域および各国の資料を体系的に収集する。
- ②最新の資料に留意する。
- ③各地の特色ある産業や伝統工業についての資料を収集する。

- ④地図は冊子形態のものを収集し、1枚ものは収集しない。  
⑤探検記は積極的に収集する。

### 3 類(社会)

- 1 こどもの社会に対する見方をひろげ、深める資料を体系的に収集する。
- 2 社会科学習に役立つ資料を収集する。
- 3 社会の新しい動向について記述されている資料に留意する。

---

#### ◆ 政治(31)

- ・日本と世界の動き
- ・政治とくらし
- ・選挙,議会,自治体
- ・民主主義
- ・民族問題,難民

#### ◆ 法律(32)

- ・憲法

#### ◆ 経済(33)

- ・日本と世界の動き
- ・経済とくらし

#### ◆ 統計(35)

- ・各種の統計

#### ◆ 社会生活,家庭問題(36)

- ・社会問題
- ・新聞,テレビ,マスコミ
- ・同和問題
- ・労働問題,職業案内
- ・婦人問題,女性史
- ・社会福祉

#### ◆ 教育,学校(37)

- ・学習のしかた
- ・学校新聞,学校放送
- ・学校生活,生徒会
- ・進路
- ・子ども会

#### ◆ 風習,民話,伝説(38)

- ・年中行事,風俗習慣
- ・民話,伝説

#### ◆ 戦争と平和(39)

- ・兵器
- ・自衛隊
- ・原爆

#### 4 類(理 科)

- 1 利用が多く,出版点数も多い分野なので,こどもに科学的なものの見方,考え方をそだてる資料を基本に体系的に収集する。
- 2 科学・技術の進歩にあわせ,内容の新しさに十分留意する。
- 3 こどもの旺盛な知識欲に応えられるよう幅広い多様なテーマの資料を収集する。
- 4 自然に対する興味や関心をふかめ,こどもと自然とのふれあいの手引となるような資料を収集する。
- 5 こどもの発達段階に応じた資料を揃える。
- 6 幼児向の科学絵本も収集する。

---

#### ◆ 理科一般(40)

・科学の歴史 ・科学者の伝記 ・事典,年鑑,年表,図鑑 ・理工  
作,理科実験 ・自然観察 ・科学クイズ

#### ◆ 天文,宇宙,暦(44)

・星座,天体観測 ・天体写真集

#### ◆ 地学,気象(45)

・気象,天気 ・地質,岩石 ・恐竜,化石 ・海洋

#### ◆ 生物,人類,進化(46)

・生物の歴史 ・人間の歴史 ・生物の生態

#### ◆ 植物(47)

・野草,植物採集 ・植物図鑑

#### ◆ 動物(48)

・動物の生態 パンダやコアラなどこどもに人気のある動物に留意  
・動物図鑑 ・昆虫採集,昆虫図鑑 ・野鳥

#### ◆ 保健,衛生,薬(49)

・人体 ・医療としらし ・性 ・公害病 ・体と栄養



## 5 類(工業)

- 1 こどもたちに知的刺激を与え,創造や製作への意欲を高めるような科学技術とその応用について,わかりやすく書かれた資料を収集する。
- 2 社会科,理科,技術,家庭科の学習に役立つ資料を収集する。
- 3 工作や料理,手芸などの分野では,こどもたちが心から楽しみ遊べるような娯楽性,実用性の高い資料を収集する。
- 4 科学技術の進展にあわせ,新しい内容の資料に留意する。

---

### ◆ 工業,発明(50)

- ・ エネルギー
- ・ 発明,発見
- ・ 技術の歴史
- ・ 各種の工作,ホビークラフト
- ・ おもちゃ,模型,科学模型
- ・ 日本の工業
- ・ 世界の工業

### ◆ 土木,公害(51)

- ・ ゴミ問題
- ・ 公害,環境問題

### ◆ 建築(52)

- ・ 日本の建築
- ・ 世界の建築

### ◆ 機械(53)

- ・ 各種ののりもの図鑑
- ・ 自転車,自動車
- ・ 飛行機,ロケット
- ・ 鉄道
- ・ 宇宙,宇宙旅行
- ・ 原子力

### ◆ 電気(54)

- ・ 電車,機関車
- ・ ラジコン
- ・ アマチュア無線
- ・ オーディオ,ラジオ,テレビ,ビデオ
- ・ ロボット
- ・ エレクトロニクス

### ◆ 化学工業(57)

- ・ 石油

### ◆ その他の工業

- ・ 製造工業

### ◆ 家庭,美容,料理(59)

- ・ 手芸
- ・ おしゃれ
- ・ 料理
- ・ インテリア

## 6 類(産業)

- 1 とくに社会科学習と大きくかかわり,レファレンスの多い分野なので  
教科学習に役立つ多様な資料を収集する。
- 2 ペットの飼い方や草花の栽培は,実用性の高い資料を収集する。
- 3 情報化社会など産業界の新しい動向にふれた資料に留意する。

---

### ◆ 産業一般(60)

- ・日本の産業
- ・世界の産業

### ◆ 農業(61)

- ・日本の農業
- ・世界の農業
- ・農家のくらし
- ・農産物
- ・食糧問題

### ◆ 園芸(62)

- ・草花
- ・野菜
- ・果物

### ◆ 畜産(64)

- ・畜産動物の飼育
- ・ペットの飼育
- とくにこどもに人気のある動物

### ◆ 林業(65)

- ・日本の林業

### ◆ 水産業(66)

- ・日本の水産業
- ・魚の飼育
- ・魚の図鑑

### ◆ 商業・貿易(67)

- ・日本の商業
- ・商業の歴史
- ・日本と世界の貿易

### ◆ 交通(68)

- ・交通の歴史

### ◆ 通信(69)

- ・趣味の切手収集
- ・ニューメディア
- ・テレビ,ラジオ

## 7 類(芸術)

- 1 各分野の基本書を体系的に収集する。
- 2 こどもたちが心から楽しみ遊べるような娯楽性, 実用性の高い資料を収集する。
- 3 こどもたちの趣向や流行に留意し, 最新情報を提供できるよう資料を収集する。
- 4 図版, 写真, イラストを使用した資料に留意する。
- 5 できるだけ複本を用意する。

---

### ◆ 芸術一般(70)

- ・ 美術の歴史
- ・ 美術家
- ・ 彫刻, 絵画, 版画, 写真などの作品集
- ・ 美術鑑賞

### ◆ 彫刻(71)

- ・ 彫刻の鑑賞
- ・ 彫刻の技法
- ・ 仏像

### ◆ 絵画・書道・まんが(72)

- ・ 絵画の鑑賞
- ・ 絵画の書き方
- ・ 習字, 書道
- ・ まんがの書き方
- ・ 図案

### ◆ 版画(73)

- ・ 版画の鑑賞
- ・ 版画の技法

### ◆ 写真・印刷(74)

- ・ 写真の鑑賞
- ・ 写真のとり方

### ◆ 工作・おりがみ・切り絵(75)

- ・ 工芸品の鑑賞
- ・ 工芸品の技法
- ・ おりがみ
- ・ 紙工作

### ◆ 音楽・舞踊(76)

- ・ 音楽の歴史
- ・ 音楽家
- ・ 楽器の演奏法
- ・ 作曲
- ・ 歌集, 楽譜集
- ・ 童謡, わらべうた, 手遊びうた ※クラシックのほかポピュラ-音楽も

◆ 演劇・映画(77)

- ・演劇の歴史 ・学校演劇, 児童劇 ・人形劇, 影絵, ペープサート
- ・各種の脚本集 ・アニメーション ・落語 ・奇術

◆ スポーツ・釣り(78)

- ・こどもの遊戯 ・器械体操 ・陸上競技 ・オリエンテーリング
- ・各種球技 ・スキー, スケート ・水泳, サーフィン ・登山, キャンプ, ハイキング, サイクリング ・釣り ・剣道, 柔道, 空手, 相撲
- ・プロレス

◆ 娯楽, 将棋, 遊び(79)

- ・囲碁 ・将棋 ・トランプ ・あやとり, なぞなぞ, ゲーム
- ・フォークダンス

8 類(ことば)

- 1 出版点数の少ない分野だが, 国語科の学習に役立つ資料を中心に収集する。
- 2 利用の多い資料は複本を用意する。
- 3 外国語に関する図書を集める。

◆ ことば(80)

- ・文字 ・話し方

◆ 日本語(81)

- ・漢字 ・文法 ・ことわざ ・詩 ・方言

◆ 辞典(81,3)

- ・各種の辞典 (国語, 漢字, 古語, 外来語, 語源, 反対語など)

◆ 作文(81,6)

- ・作文の書き方, 手紙の書き方

## 9 類(文学)

- 1 豊かな想像力を養えるもの,こどもの視野を広げて,より高度な読書の世界へと誘えるものを中心に幅広く収集する。
- 2 各ブックリストにあげられた資料はもれなく十分な複本を揃える。
- 3 評価の定まった作家の作品は,できるだけもれなく収集,保存する。
- 4 こどもに人気のある作品は,十分な複本を揃える。

### ◆ 幼年文学(3才ごろから小学校3年生ぐらいまで)

- ①構成がわかりやすく,表現が具体的なこと
- ②くり返しのことばなどで楽しいこと
- ③主人公の個性が自然に生き生きと描かれていること
- ④読者の共感をよびながら主人公の成長や成功を喜べるもの

### ◆ 創作児童文学

- ①テーマ(主題)ー作品を通して書き込まれているもの
  - ②人物ーこどもの論理で描かれており,一人一人の性格が浮かびあがってくるもの
  - ③筋ーおもしろいこと 必然性と独創性を備えたもの
  - ④構成ー読者の興味が持続するような組み立てのもの
  - ⑤視点ー統一ある見方で貫かれていること
  - ⑥文体ーこどもに迎合した文体,教訓的な口調でなく,読者を引き込む生きた文章であること
  - ⑦信憑性ー作品の中で,文学的真実となりえているもの
  - ⑧背景ー物語に真実らしさをあたえる,普遍性をもつもの
- ◇ ナンセンスー常識的な論理のひっくり返された非合理の世界を描いて心を解放し,真実の深みを写しだそうとするもの
- ◇ リアリズムーテーマだけが出すぎていないか,問題が掘り下げられているか,内容に普遍性があるかなどの点に注意